

科目名	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ					単位	1.0
担当教員	吉田 みゆき・宮沢 和志						
授業形態	演習	開講期間	随時	配当年次	4	授業番号	7012

●授業のテーマ

精神保健福祉援助実習事後指導

●到達目標

- ・実習体験から専門的な相談援助支援の意義・役割を捉え返し、実際に学び得た内容を深めてまとめる。
- ・精神保健福祉士に求められる役割・課題の整理・理論化を目指す。
- ・専門的力量を高めるための事故の課題を具体的に見いだす。

●学習内容(授業概要)

個別・グループ学習を通して実習での体験を振り返り、精神保健福祉士に求められる専門性、実際の相談援助の展開過程を深める。特に精神保健福祉士の職務のあり方を系統的に探求していく力を養う。そして各自の体験を評価・総括してまとめ、「体験報告書」を作成する。

●学習内容(授業計画)

1. 実習のまとめに向けて一視点と内容
2. 実習体験の交流①(障害福祉サービス事業所)
3. 実習体験の交流②(障害福祉サービス事業所)
4. 実習体験の交流③(精神科医療機関)
5. 実習体験の交流④(精神科医療機関)
6. 実習記録を用いた具体的考察①
7. 実習記録を用いた具体的考察②
8. 実習の成果・教訓の整理
9. 各自の自己評価
10. 事後の学習課題について
11. 精神保健福祉士の専門的援助技術に関する実践的考察と理論化
12. 実習体験報告書について
13. 実習体験報告書の作成指導①
14. 実習体験報告書の作成指導②
15. 「精神保健福祉援助実習報告会」にて発表

●準備学習・事後学習の内容

実習終了後、各自の関心についてさらに学習して深める。

実習の成果を実習報告会で発表する。

●成績評価方法・基準

実習経験の深め方と交流 40%, 実習体験報告書の内容 30%, 各自が習得できた専門的力量・資質の向上 30%により総合的に評価する。

●テキスト（必携）

「精神保健福祉援助実習の手引き」「精神保健福祉援助実習記録」（本学で配布する）

●参考文献／その他

新・精神保健福祉士養成講座9『精神保健福祉援助実習指導・実習』第2版, [編集] 日本精神保健福祉士養成校協会, 中央法規出版.

●履修上の注意

実習担当教員への連絡, 報告, 相談は早めに行うこと.

講義の無断欠席は認めない. 講義日程は年度初めに伝える.